

「THRASHER (スラッシャー)」と「WIND AND SEA (ウインダンシー)」が タッグを組んだ別注商品を発売



この度、ライセンス企画を行う有限会社レインボーワークス（所在地：世田谷区池尻3-30-2 代表：小泉憲孝）は、「THRASHER (スラッシャー)」と、様々なトレンドシーンを切り抜き常に新たな提案を続けるアパレルブランド「WIND AND SEA (ウインダンシー)」とのスペシャルなアイテムを発売いたします。

今回の企画では、THRASHERの中でも人気の高いロゴデザインをWIND AND SEAのロゴに落とし込んだスペシャルなアイテムが登場。Tシャツやシャツ、キャップ、ステッカーなどバリエーション豊富なラインナップで展開いたします。本アイテムは2023年5月27日（土）より、WIND AND SEA直営店、オフィシャルオンラインショップにて発売。さらに、26日（金）～28日（日）に開催される日本初の新たなスケートボード国際イベント「UPRISIG TOKYO supported by Rakuten」のWIND AND SEAブースでも販売されます。

有限会社レインボーワークスでは、自社のプロパティを旬な時期に親和性のあるブランドと販路を結び付け、商品企画を展開していくことでライセンスの良さを最大限に生かし、認知浸透・販路拡大につなげています。



■「THRASHER (スラッシャー)」の概要

1981年にサンフランシスコでEric Swenson、Fausto Vitelloが創刊して言わずと知れたUSAを代表するスケートボード専門誌『THRASHER MAGAZINE』。雑誌の刊行だけに留まらずそのブランドとしての地位は世界中の若者たちの間で確固たるものとなっている。スケートボードだけの枠にとらわれずウェア、アートワーク、ロック、他のスライドスポーツ界に置いてもその独自の世界観はある種その手のサブカルチャーの代名詞にさえなっていると言っても過言では無い。

■「WIND AND SEA (ウインダンシー)」の概要

公式ウェブサイト <https://windandsea.jp/> / Instagram @windandsea_wear

2018年に誕生した東京発のアパレルブランド。ユースカルチャーや、現代のトレンドを加味したアイテムと、ジャンルレスに様々なブランドとのコラボレーション企画を行うことで話題を呼んでいる。ブランド名の由来は、「波乗りを終え、「F**k you, Go home!」と書かれた自身の車を目にし、悔しい想いをした」という、アメリカ、サンディエゴのラホヤにあるサーフポイント、Windandsea Beachでの体験がきっかけとなっている。

THRASHER(スラッシャー)商品は、米国のHIGH SPEED PRODUCTION Inc.とのライセンス契約により株式会社トライオンが企画・販売しております。

【会社概要】

- 会社名：有限会社レインボーワークス
- 所在地：〒154-0001 東京都世田谷区池尻3-30-2 昭和ビル
- TEL：03-3795-9090
- URL：<http://www.rainbowworks.jp/>
- 業務内容：ライセンス企画